



ほうき

議会だより

第**72**号

2023年
1月25日



大山榊水高原スキー場

おもな内容

- 令和4年度一般会計補正予算(第3号)…………… 2ページ
- 令和4年度一般会計補正予算(第4号)・採決… 3~4ページ
- 全員協議会…………… 5ページ
- 町政に関する要望…………… 6~7ページ
- 町民と語る会…………… 8ページ
- 委員会活動報告…………… 9~10ページ
- 一般質問…………… 11~15ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 16ページ

人の動き

	令和5年1月1日現在	前年同月比
人口	10,420 人	△204人
(男)	5,009 人	△102人
(女)	5,411 人	△102人
世帯数	3,871 世帯	5世帯

伯耆町議会へのお問い合わせ、ご意見をお待ちしております！

伯耆町ホームページから、「議会の情報」→「議会事務局」ページ項目最下部「オンラインによるお問い合わせ、ご意見はこちら」に進んでいただくと送信できます。



伯耆町 一般会計補正予算(第3号)

原案可決 (令和4年11月4日)

補正前

78億1,200万円

補正額

1億1,700万円

補正後

79億2,900万円

歳出(主なもの)

低所得世帯に対する
光熱費助成事業

202万円



ウクライナ危機や円安などの影響での物価高騰により、低所得者世帯に助成金給付

電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金

5,378万円



低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し1世帯あたり5万円給付

上水道料金減免等支援

2,143万円



上水道の基本料減免での家計支援

新型コロナウイルス
ワクチン接種対策事業

984万円



オミクロン株対応ワクチン接種実施

新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保事業

502万円



ワクチン集団接種及び個別(医療機関)接種の環境整備

指定管理施設等
コロナ対策事業

375万円



電気・ガス代の価格上昇分や法定点検費用を補助

伯耆町新型コロナ・円安・
物価高騰対策支援補助金

1,000万円



コロナウイルスの影響により売上や利益が減少した町内事業者への補助

肥料価格高騰対策事業

485万円



化学肥料の低減に向けた農業者へ肥料費を支援

伯耆町 一般会計補正予算(第4号)

原案可決 (令和4年12月13日)

補正前

79億2,900万円

補正額

1億700万円

補正後

80億3,600万円

歳出(主なもの)

情報処理事業

302万円



証明書コンビニ交付システム導入

第4回ガソリン等購入 助成券配布事業

8,865万円



ガソリン等購入助成(1世帯当たり2万円) 運送事業者、公共交通、物資輸送、地域の在宅介護体制の確保

地図管理事業

215万円



地籍調査の管理に係るシステム更新

出産・子育て応援 交付金支給事業

660万円



妊娠時から出産・子育てまで
伴走型相談支援の充実と経済的支援

介護保険事業

407万円



福祉相談システム導入

農地補助災害復旧事業

550万円



令和4年8月豪雨により
被災した農地(岩立地内)

美術館周辺にぎわい 創出事業

508万円



伯耆にぎわいフェスタ
運営費、会場周辺整備

大山山ろく開拓事業

238万円



県営土地改良事業(富江地区)の
令和4年度実施事業計画変更

議案等に対する各議員の賛否（令和4年11月臨時議会）〔令和4年11月4日〕

議案番号	件名	大床桂介	上田博文	片岡千明	長谷川満	杉本大介	乾裕	永井欣也	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	細田栄	幅田千富美	大森英一	勝部俊徳
71	令和4年度伯耆町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○
72	令和4年度伯耆町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○
73	令和4年度伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

（※）杉原良仁議員は欠席。

議案等に対する各議員の賛否（令和4年12月定例会）〔令和4年12月13日〕

議案番号	件名	大床桂介	上田博文	片岡千明	長谷川満	杉本大介	乾裕	永井欣也	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	細田栄	幅田千富美	大森英一	勝部俊徳
74	職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	伯耆町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○
76	伯耆町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	工事請負契約の変更契約について（伯耆町岸本保健福祉センター改修工事（建築））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	工事請負契約の変更契約について（伯耆町岸本保健福祉センター改修工事（電気・機械））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について（大山ガーデンプレイス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について（榎水高原リフトほか）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
81	令和4年度伯耆町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和4年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	令和4年度伯耆町水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	令和4年度伯耆町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	伯耆町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

（※）議案第75号（令和4年12月6日採決）：細田栄議員、杉原良仁議員は欠席。

みんなが知りたい

全員協議会

全員協議会は11月30日、12月12日に開催しました
その内容は次の通りです。

●職員 の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

●伯耆町職員の給与に関する条例の一部改正について

①規定の整備概要

- ・職員の定年年齢を65歳に段階的に引上げ規定
- ・定年時に5級以上の管理監督職者は、非管理監督職に降任する規定
- ・定年前再任用時短勤務制度の設置及び現行の再任用制度の廃止による暫定再任用制度の設置

①概要

- ・給料表を平均0.3%引上げ
- ・勤勉手当の引上げ
- ・一般職員
 - 0.1月分引上げ
 - 再任用職員
 - 0.05月分引上げ

②適用期日

令和4年4月1日

●伯耆町固定資産評価審査委員会委員の選任について

①委員名

- ・橋谷 賢二氏(番原)
- ・遠藤 範文氏(吉定)
- ・田中 厚之氏(溝口)

この3名の選任について同意

②施行期日

令和5年4月1日から施行(令和5年度退職者から適用)

②任期

令和5年2月18日から3年間

●伯耆町教育委員会委員の任命について

①羽田 成夫氏 72歳(大殿)の再任について同意

②任期は、令和5年2月18日から4年間

●鬼の館駐車場整備計画の変更について(説明)

※変更内容

- ・駐車場の出入口を1箇所统一到
- ・緑地整備については令和6年度以降に行う。



鬼の館駐車場の出入口付近

●令和4年度榎水高原スキー場の営業について(報告)

①3年ぶりに榎水高原スキー場の営業を再開。

②営業時間

※月々金曜日

- ・日中↓9時〜16時
- ・ナイター↓17時30分〜22時

※土曜・日曜・祝日

- ・日中↓9時〜17時
- ・ナイター↓17時〜22時

(日曜・祝日は、ナイター休止)

券種	平日		土日祝	
	大人	小人	大人	小人
入場料	※新規 共通500(4歳以上)			
1日券	3000	2000	3500	2500
ナイター券	2700		3000(土曜のみ)	
11回券	5000(入場料込)			

※リフト料金(円)

※今年度から、ゲレンデ入場料として500円を徴収

●伯耆町岸本保健福祉センター改修工事(建築請負契約の変更契約について(説明))

①変更理由

・屋根のトップライトの

修繕

- ・脱衣室の床竹マットの全面張り替え
- ・屋根の下がり壁の剥離修理等

②変更契約額

3,775千円増額

③変更後の契約額

75,583千円

●伯耆町岸本保健福祉センター改修工事(電気機械)請負契約の変更契約について(説明)

①変更理由

- ・ピット内での漏水修理
- ・プールのフロアティン
- ・グジェット用スイッチ撤去
- ・トレーニングルームの空調スイッチの改修

②変更契約額

1,266千円増額

③変更後の契約額

115,556千円

●伯耆町公の施設に係る指定管理者の候補者の選定について(報告)

①大山ガーデンプレイス管理者 伯耆町地域振興株式会社

・期間 令和5年4月1日から3年間

・管理料 880万円

②榎水高原リフト及び榎水フィールドステーション

・管理者 エムケイ開発株式会社

・期間 令和5年4月1日から3年間

●令和4年度伯耆町職員採用試験結果について(報告)

- ・保育士 1名
- ・一般職 2名
- ・保健師 1名

※令和5年4月1日採用予定

●伯耆町新型コロナウイルスワクチン接種状況について(報告)

区分	接種者数	接種率
1回目	9,058人	81.6%
2回目	9,001人	81.1%
3回目	7,783人	70.1%
4回目	5,603人	54.9%
5回目	1,065人	11.1%
※令和4年12月6日現在		

町政に 関する 要望

予算決算等常任委員会で審議し、町に要望しました。



耐震性貯水槽の設置整備

質問 耐震性貯水槽の設置整備計画を早期に樹立し、その整備を図りたい。

回答 整備計画の策定まではできないが、集落の要望など必要箇所には順次整備していく方針。

キャッシュレス化の推進

質問 町民の支払方法の多様化を図るため「PayPay」のスマホ決済サービスを導入し、窓口手数料等のキャッシュレス化を図りたい。

回答 各種証明書のコンビニ交付を進める予定であり、この様子を見ながら検討していきたい。



困難な問題を抱える女性への自立支援

質問 性被害や生活困窮、家庭関係の破たんなどで苦しむ女性の自立支援を図りたい。

回答 県が主体となる業務であり、町の役割が決まったうえで取り組みたい。



町道歩道等の早期整備

質問 町道吉定大原線の歩道等の未整備区間の早期整備を図りたい。

回答 引き続き財源措置について、県に要望をしていく。



農家へ機械等購入補助

質問 本町に居住する農業者であって、その所有する農地の維持管理に必要な機械等の購入に要する経費を補助されたい。

回答 伯耆町としては水稲共済・収入保険掛金に補助をして



いる。限られた財源の中で選択する必要があり、公益性の観点からも購入補助については難しい。保全管理に対する補助については、来年度予算で幅広に検討する。

中学校休日の部活動問題

質問 中学校の「休日」の部活動」を地域や民間団体に委ねる「地域移行」を令和7年度までに、本町の地域事情に配慮しながら円滑に完了させたい。

回答 土曜日の大会等での保険や指導者の取り扱いなど、基本的な部分で課題がある。今後、県が方針を出すとのことなので、それにより検討をしていきたい。



町民と語る会（3年ぶりに開催）

総務経済常任委員会

○令和4年10月11日開催

・出席者

（農業委員会）

加川賢明会長他6名

（総務経済常任委員会）

乾 裕委員長他5名



農業委員会との懇談

伯耆町の農業の現状と課題

●農業委員会

- ・後継者不足により、町内の耕作放棄地が増大している。
 - ・山間地域の耕作放棄地については、林野化を進めていくしかないのではと思っている。
 - ・米価の価格低下により、景観保持のためだけに米作りが行われている。
 - ・法人を設立された地区でも、役員の高齢化等により、解散を考えている法人が増えている。
 - ・大規模農家の参入を推進しているが、まとまった農地でも畦畔が嫌われ、難しい農地もある。
- まとめ
- ・本町の基幹産業である農業の深刻な現状を再認識し、今後更に農業委員会と情報交換をおこない、問題解決へ議会として、何が出来るのか、早急に検討していく必要性を共有した。

教育民生常任委員会

○令和4年11月16日開催

・出席者

（伯耆町老人クラブ）

米田述史会長他4名

（教育民生常任委員会）

一橋信介委員長

他4名



老人クラブ役員との懇談

らないように、プログラムの工夫している。

- ・やらされている感をなるべく出さないようにして、主体的、自主的に参加できる雰囲気づくりを大切にしている。
- ・去年は会員数2名増となった。（全国的にも珍しい）
- ・老人クラブの活動には大規模災害時の安否確認やフレイル予防、認知症予防にも力を発揮できる可能性がある。

●老人クラブの課題

- ・近年、全国的に会員数の減少が問題となっており、集落単位の老人クラブが減る傾向にある。
- ・個人の趣味の多様化により老人クラブの魅力が減ってきている面もある。旅行などのイベントが減っている。

●老人クラブの活動・使命について

- ・老人クラブの活動はコロナ禍以前よりもプログラム数を増やした。
- ・高齢者のイメージにな

令和2年より、愛称「ふれあいクラブ伯耆」として活動している。

- ・中山間地区の5年後10年後の自治会活動・老人クラブの活動がどうなっているか心配している。

●町への要望

- ・伯耆町のバスが、もっと広範囲に使用できれば活動範囲も広がるので、助かる。
- ・今後の多様なニーズに対応するため、きめ細かい補助を願いたい。

●まとめ

- ・老人クラブの活動・課題をお聞きし、役員の皆様、会員の皆様の熱意・使命感を感じました。
- ・老人クラブの様々な問題も認識いたしました。
- ・町への要望として、議会への請願・陳情の提出をご検討いただけたらと思います。
- ・議会としても今後の老人クラブの活動を支援・応援させていただきます。

総務経済常任委員会行政調査報告

調査委員

乾 裕 上田博文 幅田千富美 大森英一
細田栄 永井欣也 片岡千明

調査の目的

有害鳥獣対策

調査期間及び対象調査先

(1) 調査期間

令和4年9月29日(木)
～9月30日(金)

(2) 調査先

島根県邑智郡美郷町

美郷町の概要

①人口 4,355人
(令和2年国勢調査)

②高齢化率 47.9%

調査方法

令和4年9月28日から30日の間、美郷町で開催された「第3回山くじらフォーラム」に参加し、NHK番組でも紹介され、獣害対策において先進的な取り組み調査を行った。

調査概要

●美郷町の獣害対策

農作物の獣害被害が増加し非常に深刻化し、こうしたなか、美郷町は、約20年前に「雅ねえ」と獣害対策研究家 井

上雅^{まよ}氏を招き、獣害から農作物被害を防ぐ取組みを始めた。



獣害対策研究家 井上雅央氏(通称 雅ねえ)

「雅ねえ」こと井上氏は、農作物を荒らすのは人の餌付けで作物の味を覚えたり山に住む一部のイノシシである。農作物被害の原因は動物ではなく人間が作っている。このため農作物被害を減らすためには、イノシシの駆除よりも、えさ場となる放置された果樹や捨てた野

菜の除去、耕作放棄地やあれだ竹藪などのイノシシの潜り場の除去等が大切である。

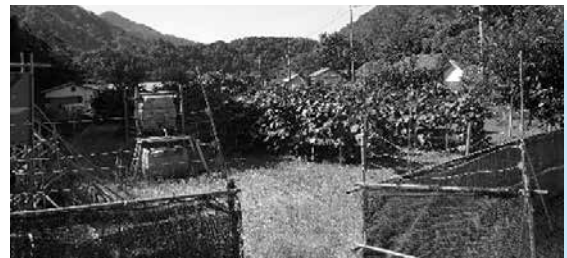
こうした考えから町役場、住民が一体となり獣害対策に取組んだ。

①農業者自らが狩猟免許を取得し、獣害被害から自分の農地を自分で守るという住民主体の駆除体制を確立。

②獣害被害に強い実証展示圃場として、

- ・果樹の取残しが無いよう低木栽培
- ・柵から2m離して植栽
- ・マルチの替わりに竹を敷詰めたイモ苗床
- ・トタンやハウスパイプ等の農業廃材を利用した柵づくり

を施した「青空サロン畑」を「雅ねえ」の指導の下、地元婦人会と一緒に設置し、住民に周知。



農業廃材を利用した「青空サロン畑」

●獣害対策をきっかけとした町づくり

「雅ねえ」の害獣から農作物被害を防ぐ取組みと同時に、美郷町では、町役場が主体となり、害獣を活用した町づくりも始めた。

①脂がのつけない夏イノシシを資源として活用。

「おあち山くじら生産組合」を設立し、夏イノシシ肉の商品化を図り6次産業化を進めた。

②獣害対策をきっかけに、獣医師の育成で知られる神奈川県の麻布大学

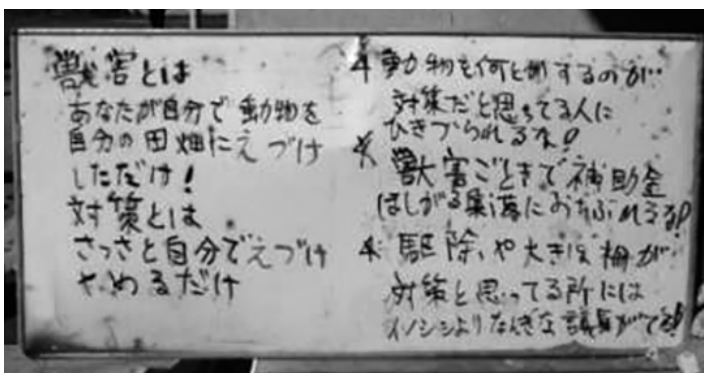
フイールドワークセンターが美郷町に開設など大学や鳥獣害対策の部材製造・販売メーカーやNPO等の進出、また三重県津市や兵庫県丹波篠山市などの自治体とも連携するなど、産官学民の共同体による獣害対策の取組みを行っている。

今後、さらに美郷町に獣害対策の研究者や企業を集め、最新の情報を全国に発信する拠点「獣害版シリコンバレー」(通称「美郷バレー」構想)を展開中である。

このように獣害被害という災いを町づくりに活かそうとしている。

調査のまとめ

全国的に獣害被害が増加するなかで、美郷町の獣害対策について、本町とは獣害の規模や地形的な違いもあるが、農業者が主体となった駆除体制、また害獣が里山に住み着く原因の除去等、害獣から農作物被害を減らす根本的な取組みは、本町の中山間地における有害鳥獣駆除対策の参考になると考える。



「雅ねえ」の獣害対策の精神

教育民生常任委員会行政調査報告

調査委員

一橋 信介、大床 桂介、勝部 俊徳、
渡部 勇、杉本 大介、長谷川 満

総社市役所、ひきこもり支援センター
(総社市社会福祉協議会)【岡山県総社市】

【日時】

令和4年10月19日(水曜日)

【調査項目】

先進的なひきこもり支援の取組

【具体的な支援について】

・障がい、生活困窮、権利擁護に関する相談の中でひきこもりと思われる存在を確認し、総社市のひきこもりの人数把握につとめた。

・平成29年4月に、ひきこもり支援センター「フントタッチ」開設。専門の相談員(社会福祉士)による訪問・電話・メールでの相談対応。ひきこもり支援センターのほか、生活困窮者支援センター、障がい者基幹相談支援センターなど横断的な総合



総社市役所にて

相談支援体制を構築。
・平成30年2月に市役所社会福祉協議会のそばの一軒家を借り上げ、常設の居場所「ほっとタッチ」開設

・平成30年8月に家族会「ほっとタッチの会」設立。当事者家族の交流を図り、リフレッシユでできる場をつくり、家族の孤立を防ぐ。
・ひきこもりサポーター養成。養成講座を年3、5回実施。ひきこもりの方の理解と支援方法の基

一般廃棄物最終処分場「エコ・グローブくれ」(覆蓋施設)【広島県呉市】

【日時】

令和4年10月20日(木曜日)

【調査項目】

特色ある一般廃棄物最終処分場整備の取組

【特徴】

・閉鎖空間のため、廃棄

礎を学び、支援者を増やす。

物の飛散・流出や臭気の拡散を防ぐことができる。
・降雨などの自然現象に左右されないため浸出水が少量である。
・被覆構造物であるため、景観に配慮した構造である。

・跡地利用が可能である。この特徴を活かすことで、周辺環境への負荷を低減し、安全性を確保した地域融和型最終処分場を目指した。

・高齢者が散策できる遊歩道や広場の整備。

・地元生活者の利便性を考えた道路の新設。

・「ジオトープ(生物生息空間)」の整備。



エコ・グローブくれ

倉敷市立美術館・中央図書館・自然史博物館【岡山県倉敷市】

【日時】

令和4年10月21日(金曜日)

【調査項目】

特色ある文化振興への取組

倉敷市立美術館は、もともと市庁舎本館として建築家・丹下健三氏の設計により、1960(昭和35)年に建てられた。

その後、新市庁舎建設に伴い、また、郷土出身の日本画家・池田遙邨氏から倉敷市への作品寄贈が契機となり、旧市庁舎の再利用法として、1983(昭和58)年、倉敷市立中央図書館、倉敷市立自然史博物館とともに、3館同時に開館し、文化施設ゾーンを形成している。

また、池田の作品以外に郷土ゆかりの作家をはじめ、多彩な作品を収集展示している。



美術館の学芸員と懇談

調査のまとめ

コロナ禍で3年ぶりの行政調査となったが、現地に外向き調査することは、机上の論議では果たすことができない多くの効果が期待でき、得るものも多く充実した行政調査となった。

本町においても、分野を問わず、地域の特性を生かした取組みが必要であると考える。今後の町行政による支援策検討の参考にしたい。

一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。





4人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

令和4年12月6日 実施

ページ	主な質問事項	質問議員
12	1. 子育て王国ほうき町へ 2. 子ども議会の開催について ほか	渡部 勇 
13	1. 多胎児妊婦等の妊娠・出産への支援拡充について 2. 認知症の一人歩きで早期保護を ほか	乾 裕 
14	1. 持続可能な地域の維持について 2. 学校教育の諸課題について	永井 欣也 
15	1. 町民生活を支え、地域経済回す実効ある政策を 2. 会計年度任用職員制度の改善 ほか	幅田千富美 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるyoutubeの二次元バーコードはこちらです。



町政を問う

子育て王国ほうき町へ支援策の拡大は？

町長 来年度子ども家庭庁が創設される、それから支援策の拡大を考える

渡部 全国自治体の中には人口増をしている自治体があり、施策として将来を担う子供たちへの投資として支援

町長 今後の施策展開で人口減少の抑制は可能性としてあるのは同感である。

渡部 人口減少・少子化は喫緊課題と考える。今後の施策展開によって人口減少を抑制できる可能性も十分考えられるが。

町長 施策の充実によって人口減を緩やかにしていく効果があるものと思っている。

渡部 国・県・わが町も少子化が進んでいる現状である、町長の認識は。



渡部 勇 議員



ユーチューブ動画はこちらから

参考資料 まちの好循環の流れ

- ① **施策** 子育て支援 5つの無料化など
- ② **安心** 子育てしやすいまち
- ③ **人口** 9年連続人口増
- ④ **にぎわい** 地域経済過去最高益
- ⑤ **財源** 税収増で持続可能な財政運営
- ① **さらなる施策** 高齢者、障がい者施策の充実化も
- ② **さらなる安心** すべての人にやさしいまち

人口増をしている兵庫県明石市の取組

策を考えないか。
町長 基本的に否定するものではない。総合的な町づくりを進め、住民の皆さんに安心感をもって頂ける町づくりをする。

開催してはどうか。
議会・行政の取り組み、仕組みなどに関心を持つ機会となる。
教育長 子ども議会の開催は、民主主義の学校と言われる地方自治の議会、行政の取組み等に関心を持つ機会となるが、デジタル教育、プログラミング教育、

子ども議会の開催について

現行の学習指導要領で充実が図られているなかで開催は難しい

金融教育等、その時代に必要とされる専門的教育内容についても学習指導要領で充実が求められており限られた時間数の中で子ども議会を年間学習指導計画に取り入れるのは難しい。



ナイター照明が撤去された市民グラウンド

渡部 市民グラウンドにナイター設備の設置を。
教育長 公共施設でもあり、利用状況、利用希望及び工事費等を総合的に判断し、当面設置しないとした。

町政を問う

多胎妊産婦の妊娠・出産への支援拡充を求める

町長 必要なサポートは出来ている



乾 伯耆町子育て支援センターは、妊娠期から子育て期の全ての子育てに関わる相談の総合窓口として重要な役割を果たしている。多胎妊婦への支援としては、妊婦健診費用の助成回数を通常14回に対し19回分となっているがさらに多胎妊産婦サポート事業等の導入を図りたい。



乾 裕 議員



ユーチューブ動画はこちらから

健康対策課長 妊婦さんと一対一で行うケースが多い。

乾 面談等の状況は。

訪問は、希望者や支援が必要と思われる方を対象に実施している。

健康対策課長 年に一件程度を把握している。妊娠時にアンケートを取り、妊婦の状況やかかえている課題などを把握し、子育て支援センター内で共有し、医療機関と連携支援の情報提供や産後の早期訪問を行っている。また、妊婦訪問は、希望者や支援が必要と思われる方を対象に実施している。

乾 「特定妊婦」の状況は。

徘徊対策で「高齢者見守りシール」の無料配布はどうか
町長 本人にとってのリスクがあり
実行しない

乾 認知症の一人歩き（徘徊）で行方不明になった高齢者の早期保護を目的に洋服などに貼れる「高齢者見守りシール」を無料で配布してはどうか。

町長 手段としては聞いてはいるし、やり方を否定するものではないが、本人にとつてのリスクはないか。私はそれを感じるので実行はしないが、他団体で実施されているところもあり、実効性はどの程度あるのか把握することはやぶさかではない。

既往歴や幼少期の育ちなどゆつくりと話が聞けるメリットもあり母親の立場に立った対応を取っている。

認知症による行方不明者数

年度	行方不明者数
平成29年度	1人
平成30年度	1人
令和元年度	2人
令和2年度	0人
令和3年度	0人

乾 前回9月の定例会で提案した「帯状疱疹の発症を防ぐ50歳以上の方のワクチン接種費用の一部助成を求める質問をしたがその後の進捗状況を聞く。

町長 提案を受け10月13日に町内の医療機関との意見交換会で協議のテーマとして医師からのご意見も幾つか頂いた。厚生

科学審議会予防接種ワクチン分科会の評価に関する小委員会定期接種化を検討しているワクチンには含まれているが蔓延状況とか重症度などの疾病の負荷は一定程度明らかになってきているものの、引き続き期待される効果や導入年齢に関しては検討が必要となっている。よって新年度では帯状疱疹の予防のため生活習慣の改善で免疫効果を高める事や発症のメカニズムの周知、早期治療で重症化する前に治療が可能であり薬も確立されていることなどしっかりと啓発をして、帯状疱疹によるさまざまな課題が軽減できるような段階に入らせていたのだと思います。

町政を問う

多面的な農山村の機能をどう守り活かすか

町長 基幹作業を請け負う形を維持することが当面の目標

町長 生産体制を維持することで、農山村の機能は維持されるが、生産者数は減少、基幹作業を請け負うような形を維持することが当面の目標。



実りの秋 収穫作業

永井 米価下落、ウクライナ危機、円安等により農業に係る生産資材等の高騰は農業者に大きな影響を及ぼしている。基礎自治体として、多様な多面的な農山村の機能をどう守り活かす考えか。



永井 欣也 議員



YouTube動画はこちらから

一部小学校が150周年の教育の歴史を刻むが

教育長 地域の熱い思いが継承され 教育活動が実践されている

永井 生活交通手段として欠かせないデマンドバス等の運行に、さらなる利便性を図ることの考えは。

町長 デマンドバスのバス停は217か所あり、集落にぎめ細かく入り込んでいる。現行体制維持が第1目標。利便性の向上は、バス停の移動やJRダイヤ改正対応など工夫でカバーしていく。

永井 核家族化や保護者の就業形態の多様化などにより、ニーズが変化してきている保育サービス、教育など子育て環境の充実についての考えは。

町長 本町独自の家庭子育て応援交付金の期間延長など、乳幼児期の子育て支援は前進できたと思っております。

教育長 一部小学校は令和5年度に創立150周年を迎えるが、長きにわたる教育の歴史を刻んできたことについての所見は。

永井 一部小学校は令和5年度に創立150周年を迎えるが、長きにわたる教育の歴史を刻んできたことについての所見は。

教育長 150年間にわたる地域の方々の教育に対する熱い思いが今なお継承され、一部小学校ならではの教育の実践ができています。

永井 地域全体で子どもを育み、地域が学校を支える仕組みづくりが重要。さらなる町民への周知、協力要請の考えは。

永井 家庭での教育の充実が求められるが、取組の主な成果や課題は。



創立記念の横断幕設置

教育長 一部小学校は特色ある取り組みをしており、一部地区の活性化について学習を一步進め、空き地を少しでも少なくしようというマフリ畑（幸せをよぶフーフーパーク）を地域の方々と一緒に作り、来春には菜の花畑にしようという取り組みをしている。

教育長 子育ては学校・家庭・地域が連携して行うことでの共通理解が大切。一部小学校の取り組みを紹介すると、家庭での親子の過ごし方を考えるきっかけ作りの「親子わいわいフオーラム」や親子一緒に過ごす時間確保の「親子読書」などが行われている。

永井 少人数学級によるきめ細かな教育の実施や小学校における複式学級への対応への考え方は。

教育長 現在、一部小学校の3年生と4年生、5年生と6年生が複式学級。学習環境のデメリットを軽減できるように県協働金による複式学級解消や加配などの制度、過疎債の活用を含め検討したい。中学校に接続する6年生を中心に行っている。

町政を問う

コロナ禍地域経済回す実効ある政策を！

町長 基礎自治体の役割を果たしていく



幅田 千富美 議員



ユーチューブ動画はこちらから

会計年度任用職員制度の改善が必要

町長 制度の範囲を広げるのは適当ではない

理の視点から考えていない。

幅田 会計年度任用職員制度の現状は。

担当課長 令和3年度実績で男女別人数は男65名、女205名。フルタイム

53名、パートタイム217名。時間給の最大額は

2800円、最少額は860円。年収200万円

未満は205名、200万円以上から250万円

未満は41名。250万円以上は24名。

幅田 会計年度任用職員の処遇改善は。

町長 給料表により、当初に決まった額で年度内

は変更しない。人事院勧告により給料表に変動が

あれば対応する。本町独自の引上げは考えてい

ない。

幅田 デジタル化に伴う

2015年開始のマイナ

ナンバーカードは、現在何名に公布されているか。

担当課長 令和4年9月30日時点の総務省公表数

値で5104枚。率で48%。

幅田 マイナンバーカードは任意だが、政府は2024年秋までに保険証

を廃止するの方針を出した。「カード取得強制

は法律違反」と日本弁護士連合会が反対声明を出

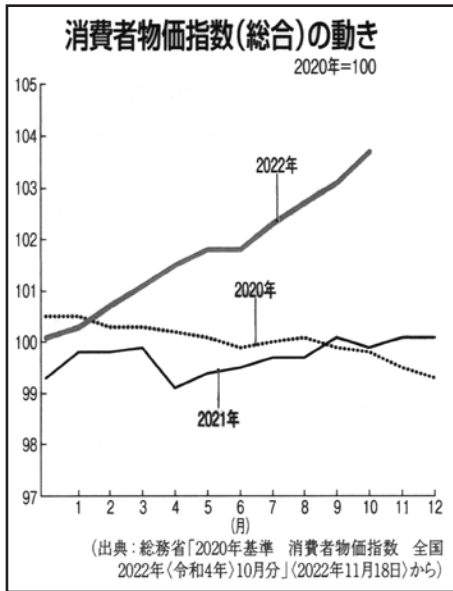
したが、町長の見解は。

町長 様々な意見がある。なるべく取得していただ

きたいが、取得しないからと言って非難される問題ではない。

町長 (1) コロナ フクチン接種を計画的に進めている。
(2) 農林畜産 国の肥料、飼料の高騰対策に県が上乘せし、本町も上乘せする。来年度も国、県の予算を見ながら町として役割を果たす。
(3) 中小事業者 経済対策は国、県の役割。基礎自治体は対人サービスで事業者にも周知やアドバイ

スを行っている。今後、経営革新や省エネ対策など経営のレベルアップの支援を行うことになる。
(4) 町民福祉 国保税の子供均等割軽減措置については、国の負担割合の引き上げと対象範囲拡大を全国町村会で要望している。
担当課長 (4) 町民福祉 補聴器について、物忘れ検診でのハイリスク者を指導、必要に応じ専門医療機関の受診につなげるようまず啓発、相談体制強化から始める
教育長 (4) 町民福祉 学校給食の無償化は考えていない。現在、給食費に200円の支援は、県下で高い補助額である。
教育次長 (4) 町民福祉 生理ナプキンは保健室でトイレへの常設は衛生管





特定非営利活動法人 サークル (就労継続支援B型事業所)



施設長
吉持秀紀さん

小さな野菜屋さん 「ほたる」

農作業を通じて、障がい者の自立支援や
安心できる居場所を提供

坂長地内のふるさと農道沿いで野菜作りや野菜販売をしながら、障がい者の働く場所を提供されておられるNPO法人「ほたる」の施設長、吉持秀紀さんに話を伺いました。

●どのような活動をされていますか

吉持 現在、5名のスタッフと施設利用者14名が登録されており、野菜を栽培し、直売所やホック、アスパルでの販売、キノコの選別作業の受託、こしき団地での出張販売を行っています。

●どのような方が登録されていますか

吉持 高齢障がい者で一人暮らしの方が多く、30代、40代の方もおられます。こうした方の通所の

就労継続支援B型事業所とは

障害のある方が、一般企業に就職することに対して不安があったり、就職することが困難な場合に、“雇用契約を結ばずに”生産活動などの就労訓練を行うことができる事業所

目的は、仕事して工賃が欲しいという方が大半ですが、中には自己変革をしたいということで来られている方もおられます。



「ほたる」直売所内

●この事業所を立ち上げられた経緯は

吉持 平成24年にNPO法人を立上げ、平成25年から、現在の場所に土地を購入し、事業を開始しました。

始めたきっかけは、身内に障がい者があり、障がい者の手助けをしたいという思いと約20年の福祉施設勤務の経験を元に、自分の農

地で就労支援ができないかという発想がもとでした。

●活動を通して困ったことはありませんか

吉持 高齢者が多く、寒くなると休まれる方が多いです。

現在、事業所の運営はきびしいが、今後も継続して運営するためにもう少し利用者を増やしたいと考えています。

●今後の抱負、展望は何ですか

吉持 施設を利用される皆さんが活動を通して働くことの楽しさややり甲斐を感じ、安心できる居場所になるように今後も頑張りたいです。



施設利用者の農作業風景

編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年後半からコロナ禍においても行動制限せず、できるだけ経済をまわしていく「ウイズコロナ（コロナとの共生）」の新しい段階になり、これからはコロナとともに生きる覚悟が必要な状況が続くと思われまます。

このような世の中ですが、少しでも明るくできるように、いろいろなことを市民の皆様と一緒に考えて、行動していきたいと考えています。議会に対するご意見をいただきますようお願い申し上げます。
(大床 桂介)

【編集】

議会広報常任委員会

- 委員長 杉本 大介
- 副委員長 片岡 千明
- 委員 大森 英一
- 委員 長谷川 満
- 委員 上田 博文
- 委員 大床 桂介

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

